



いよいよ8月5日、6日に「マイドームおおさか」にて文紙MESSIE2025が開催されます。出展社数62社、小間数172小間、ショッキングゾーンは21社にご参加頂きます。今日まで安定した規模で

販促に効果的な展示会に

水谷 豊

お客の多様化に焦点

見本市を続けてこれたのは、先人から脈々と続く文具紙製品の文化と歴史を大切に進化させたからという意図を含め、「脈」をテーマに決定致しました。今年は大阪・関西万博の開催期間中ということもありミヤクミヤクにも因み、遠方からの文具ファンや海外の方々に、両会場を兼用して頂ける機会が得られるという思いから、私ども実行委員会ではいつも以上にお客様対応の多様化に焦点

を当て、新しいイベント企画の実施や海外の方々へのスムーズな対応を目標と致しました。ホームページには5カ国語の翻訳ソフトを導入すると共に、出展社様にはスマートフォン用の翻訳アプリの活用や、ショッキングゾーンのキャッシュレス化を図るPayPay、Alipay等が提供するQRコード決済サービスの導入を推奨しております。また7月1日からは、ホームページ上でオンライン見本市をスタートしており、出展社様の新製品やイベント情報が掲載され、「日本文紙MESSIE大賞2025」コンテストに投票して頂くことができます。今年の企画イベントは、「黒板アート」で有名な好文学園女子高等学校美術部によるライブ表演を会場でも最初から完成まで2日間かけて製作して頂きま

匠の技 ステンレス製 高級つめきり

ワンタッチで跳ね上がる開口部

使いやすいとデザイン性を追求した無敵のないつめきり

テコ表面中央部分 超微粒ヤスリ付き

美しい暮らしを創る機能利器 青いベル

<http://www.greenbell.net/>

票して頂いております。広報ではデジタルツールの比率を上げ、事前広告が昨年度に増えたことがインフルエンサーによる告知を増やし、地上波や報道機関への取材依頼も継続して行いました。当日のリアル展示会場での実況を随時SNS配信することも定着し、実際にアナログ文具の進化を自ら試してみたいと、毎回新規のお客様が来場者数全体の3割を占めております。

また、文具エキスポと出展社様で作る講演会「ぶんぐの匠」では、初参加のキッドブレナラボ様の子供達による「こんな文具が欲しい」と言うアイデア提案を文具エキスポに投げかけて頂きます。恒例のイベントでは、文紙MESSIE名物「スタンブラリー」にご参加頂きま



株式会社青雲クラウン 創業150周年記念パーティー



150周年記念パーティーの会場

う先入観を持っていたとも聞いた。このような状況の中、平成元年にクラウングループに加入することを決断し、平成2年に社名を青雲クラウンに変えた決断により、平成の時代を乗り切ったことだと思う。今振り返ると青雲堂として15年間、青雲クラウンとして35年ということになる。私は平成6年に29歳で青雲クラウンに入ったので、青雲堂時代のことは全く知らず、クラウンとして文具業界の仕事をした。振り返れば30、40歳代はグループのGM会等で議論を重ね、多くの刺激を得ることができた。また、グループ加入後はオフィス図鑑を商売の基軸に据えて、納品業主体のビジネスを展開してきた。平成の中頃を過ぎると、リテールサポート分野にも注力し、今では多くの小売店舗と店頭系の仕入れ先にも支えられている。今後は店舗分野の強化を図っていく、店舗分野においても益々強化したい。平成20年を過ぎた頃、名古屋

に本社があるケイティゲイ、SBMソリューションと縁ができ、時代の変化に對して力を合わせて新たなグループを形成し、その後もエス・アンド・エス、イコリス、東海桜井とも経営統合を重ね、経営基盤の強化に取り組んできた。当社グループでは、ビジョンを「チェンジ・ザ・オフィス未来」と定め、オフィス環境の変化に積極的に取り組んでいく。特に今後成長事業と位置付けているITソリューション事業、フアニューチャー事業については投資も含めて未来への取り組みを加速していく」と挨拶。

次に一般社団法人全日本文具協会会長・セブラホールディングス株式会社の石川真一社長が「当社と青雲クラウンは100年以上の取引がある。全文協の会員は58社、そのうち100周年を超えている企業が30社あるが、さすがに150年以上になるのは3社しかない。創業者や創業に関連した社員の人たちは、多分小

創業150周年を祝福

名古屋市・青雲クラウン

280名出席して記念パーティー

名古屋市中区の名古屋観光ホテル3階那古の間で、仕入れ先、得意先など280名が出席して記念パーティーを開催し、ともに150周年を祝った。記念パーティーは、フリーアナウンサーの皆藤愛子さんが司会して進め、開宴に先立ち青雲社長が「創業以来150年間、卸業として商売を進めてきた。モノを作っていないのに、商売をこまめに続けてこれたのは、メーカーから商品分けていただいたお陰。また、エンドユーザーとの口座がな

さな会社からスタートしたと思うが、青雲の志を抱き、これが引き継がれずと続いている。先代の正幸社長がよくおっしゃられていたのが、身の丈に合った経営で、自分の実力以上のことはしない。本当に堅実に事業を行う。このことが青雲クラウンが150年続いた要因だと思ふ。英生社長は社長として20数年経つが、時代に即して身の丈に合った新しい分野に進出し、実績を上げている。長年の間青雲クラウンとお付き合いさせていただいているが、今後とも青雲の志、身

ゆめめ努力と信頼を積み重ねた証だと思ふ。地元の企業にとって、業界を共にする経営者にとって青雲クラウンの存在は、名古屋の誇りであり、進むべき方向を示す星のような存在。何度訪れた激動の時代に途切れることなく、メーカーと我々小売店、お客との繋がりを築き、強固なものにしてきた。積み重ねてきた歴史を大事にされるだけでなく、物流の改革や業界発展のための施策やイベント、DXやSDGsに代表される新たなイノベーションを次々と展開されている。不易と革新のバランスは青雲社長と社員の皆さんの日々の挑戦と情熱の結晶であると思ふ。150周年を契機として、未来を見据え、地域に根差しながら、大きく羽ばたいていけることを確信している」と祝辞を述べた。

続いてスペシャルゲストとして、テレビなどでも活躍している、ヴァイオリニストの高嶋ちさ子さんのコンサートを提供して花を添えた。

安全運転講習会

一般財団法人大阪文紙会館(志方弘嗣理事長)は、7月23日午後6時から業界4団体が共催して安全運転講習会と無事故表彰を開催する。

定員は100名。免許証と安全講習受講カードを持参してほしいといっている。

HAGURUMA

